

川口市新庁舎建設基本計画

6月15日、川口市は新庁舎建設基本計画を公表しました。市民の安全・安心、市民の利便性向上をめざすとして、200億円規模の財源を投入しようとしています。しかし、市民の多くは、このような計画を知りません。市も積極的に説明しようとしていないのが現実です。市庁舎建設問題の本質はなんなのか。いま、市は維持管理費の節減を理由に保育所や学校などの公共施設の廃止を積極的に進めようとしています。いま、進めようとしている庁舎建設は市民サービスより、業務の効率化を重視し、一極集中を基本にしたコンセプトになっています。今後の行政のあり方を具体的に示すものであり、看過できない重要な問題点を抱えていると考えています。

川口市が発表した新庁舎建設の概要

庁舎名称	建設場所	庁舎床面積	駐車台数	工期
一期棟	市民会館敷地	17,500㎡	100台	H30.1~31.12
二期棟	現在の本庁舎敷地	14,500㎡	300台	H33.3~35.7
合計		32,000㎡	400台	

*建設費210億~220億円。200億円に近づけるよう引き続き検討する。二期棟の着工時期は建設費の動向を見て判断する。

既存庁舎の活用方法

区分	庁舎名	活用計画	床面積(㎡)	職員(人)
本庁舎	本庁舎	解体	11,966.6	764
	駐車場棟	解体	6,455.0	
本庁舎周辺	分庁舎	活用	976.5	102
	第二庁舎	活用	3,799.5	294
	幸町分室・青木分室	他に転用	590.3	39
	市民会館事務棟	解体	2,937.6	84
本庁舎周辺	鳩ヶ谷庁舎	活用	9,152.1	254
以外	朝日環境・水道庁舎	引き続き利用	1,400.0	128
合計			30,822.6	1,665

新庁舎建設基本計画に対する、パブリックコメント(意見)を出そう

1 期間：平成27年6月15日~7月14日(締め切り当日消印有効) 2 提出方法：①持参②郵送③FAX④Eメールの4つの方法 3 宛先：〒332-8601 川口市青木2-1 川口市役所新庁舎建設室 Tel 048-271-9107 Fax 048-259-6860

基本計画
の問題点

建設費200億円では済まない

1.5倍の庁舎規模が必要なの？ / 無駄な費用をかけないで！

(1) どうして二ヶ所に分けて建設しなければならないの

- ①計画では、駐車場を含む総床面積4.4万㎡が必要となるため、容積率の制限で市民会館または本庁舎敷地一ヶ所では建てられないためとしているが、そもそも4.4万㎡もの新庁舎を必要とする根拠が乏しいのです。
- ②現在、庁舎9ヶ所、総床面積約3万㎡で1665人の職員が働いています。新庁舎3.2万㎡に、活用または利用する既存の庁舎5ヶ所約1.5万㎡を加えると約4.7万㎡と現在の1.5倍の広さとなります。いま、市は毎年、職員定数を減らすことに懸命です。どうして、庁舎だけ広くしなければならないのでしょうか。

(2) 建設費200億円以内で完成出来るのか。

- ①現在、市では新庁舎に加え火葬場、高校の統廃合を三大事業(総額600億円)として同時進行中です。市民に、将来に亘って大変な負担を強いることとなります。安易な計画で、工事に着手し、市民に追加費用を負担させることは許せません。
- ②川口市と同様、オリンピック前までの完成を目指し、今年10月に入札を予定している横浜市では基本計画より21.6%アップの補正予算を発表しています。川口市の場合、現在の庁舎の取り壊し費用、二ヶ所に分かれることによる無駄な費用などでさらに割高になります。必要床面積を再度精査し、大幅に減らす必要があります。



(3) 鳩ヶ谷庁舎のメリットを生かせば建設費の節約が可能となる。

- ①防災拠点としての優位性…市発表のハザードマップでは、本庁舎付近が市内で最も過酷な位置(震度6強、水深2~5m)にあるのに対し、鳩ヶ谷庁舎は(震度6弱、水深1~2m)と安全性がより高いとしています。
- ②交通の利便性…市のほぼ中央に位置し、122号、第二産業道路が交差し、地下鉄駅にも近く、駐車場も139台分あり、名実ともに指令拠点に相応しいものです。
- ③本庁舎から遠い…見方を変えれば、川口市の北東部からは近くなります。市が実施したアンケート結果からも明らかのように、市民は身近な支所サービスの充実を願っています。もっと鳩ヶ谷庁舎を積極的に活用することで、新庁舎のコンパクト化が実現し、建設費の大幅な節約が可能となり、市民負担の軽減とサービス強化で一石二鳥です。

鳩ヶ谷庁舎を引き続き利活用することで、新庁舎の規模をコンパクトな単独ビルとし、早期完成をめざす基本計画を提案します

オリンピック開催等に伴う建設需要増大により建設費が高騰している現実に直面し、過大な市民負担の抑制方法、そして、いつ発生してもおかしくない大地震や洪水への対策、この二つの課題に可能な限り、応えるための現実的な解決策として提案します。

たたら荘の風呂が **建て替えて** 無くなる

お年寄りの楽しみと健康 奪わないで!

市民サービス切り捨ての「公共施設統廃合」問題

川口市は、たたら荘の老朽化に伴い新郷たたら荘と仲町たたら荘の2ヶ所を、保育所と一緒にして(複合施設)で建替える準備を進めています。ところが、両たたら荘にあった風呂を新しいたたら荘には、設置しないことが分かりました。

たたら荘は、健康増進とコミュニティの場として、風呂場もつくられていてお年寄りから喜ばれている施設です。年金は削られるなかで、風呂までも取り上げられては、お年寄りはますます家に閉じこもってしまうのではと、心配されています。たたら荘は、市内に9ヶ所あり、1ヶ所当り約3万人(9ヶ所の年間平均)が利用し、同様施設の鳩ヶ谷福祉センターも含めれば10ヶ所あります。が、老朽化が進んでいる本町、芝中央、南平などのたたら荘にも影響は必至です。

新郷では、今まで通りに『風呂場をつくって』との署名活動を地元の人々クラブ連合会が行いました。先日の6月市議会では、仲町たたら荘の建替えにあたっては、今までどおり風呂の設置を求め

て、市を質しましたが、市はお年寄りから風呂を取り上げる姿勢です。

鳩ヶ谷庁舎の活用で 新庁舎の規模を 縮小し、風呂を!

川口市は、200億円の巨費を投じて、面積3万2千平方メートルの新しい市役所を建てようとしています。鳩ヶ谷庁舎を活用して建設面積を縮小すれば、たたら荘のお風呂をつくる費用は簡単にできるはず。

保育所でも起きている

横曽根保育所と西口西保育所1ヶ所になりました。今年度から建て替えの準備に入った末広保育所と元郷保育所も、ゼロ歳児保育などを実施するものの1ヶ所に統合する計画。

これまでも、公立保育所7ヶ所を定員割れ状態にして休所や廃所(園)に追いやりました。また、民間委託(公設公営)の保育所は、公立保育所41ヶ所中1ヶ所に及んでいます。昨年度から、7ヶ所の保育所を建替える(複合施設も含め)準備を、市は進めています。これまでの経緯から竣功時には民間委託にしていくことが懸念されます。

公立の保育所は、市が障害児保育を実施し、災害時の臨時的保育も受け入れ可能な施設です。減らすのではなく増やしてほしいと、保護者は訴えています。

公共施設統廃合の実態 ※数字は平成年度

保育所	5~7	中央、仁志町、青木東、青木西、朝日中央、芝東、芝富士の7ヶ所を廃園
	17	3ヶ所を民間委託
	19	横曽根保育所と西保育所を統合して、川口西保育園として建替(併せて委託に)
学校	19~25	4ヶ所を民間委託
	27	末広保育所と元郷保育所を統合して、南平保育所として建替えへ
	20	芝園小廃校
	24	芝東小廃校
	25	芝園中廃校
	29	市立3高校(川口、川口総合、県陽)廃校
	30	市立新高校開校予定

※他に南平公民館元郷分館を26年度に廃館

国は、「残すべき施設は厳選せよ」と… 国・市がいったいとなって「切り捨て」をねらう

川口市は、平成25年度に作成した「川口市施設マネジメント基本方針」と、今年度作成する「公共施設等総合管理計画策定事業」(委託費1431万円)をもとに、公共施設の統廃合を、さらに推し進める動きです。

国は公共施設の統廃合に乗り出しています。財務省は、公民館などの新設ではなく、廃止することに助成金を出し、住民福祉の公共施設を減らそうとして、「残すべき公共施設を厳選せよ」と、市町村に強要しています。また、総務省も、自治体に対して「公共施設等の解体除去事業に関する調査」を行ったり、

「公共施設等総合管理計画の基本方針」を来年度までに国に提出を義務づけるなど、公共施設の削減を市にせまっています。

保育所、学校、福祉施設、公民館などの公共施設は、子ども・お年寄りを含め市民が安心してくらししていくために、なくてはならない施設です。市は、当然、老朽化した施設の改修や建て替えを含め、日常の維持管理の責任を負っているのです。利用方法や施設の変更も含めて、新設・建替えは、利用者や市民の声・意見を反映していくのが市の役割です。

鳩ヶ谷の集会所 大丈夫?

学校の統廃合も懸念されます。芝地域で数年前2校を廃校しました。

文科省は、「小中一貫教育」の法制化を準備していますが、「施設一体型」でマンモス校化になることが想定できます。杉並区は施設一体型の小中一貫校導入で中学校5校を減らす計画が浮上しましたが、地域の運動でとりやめとなりました。川口市では、十二月田小・中学校は同じ敷地・グラウンド。市の動向とあわせて情報が必要です。

公民館の耐震対策を要する施設は、十数ヶ所に及ぶといわれています。ようやく、公民館の耐震対策がはじまったばかりです。災害時の避難場所になっている鳩ヶ谷公民館と里公民館を、早急に対策することが求められています。

鳩ヶ谷地域には、地元住民のコミュニティ施設としての集会所が16ヶ所あります。いずれも、住民の意向で旧鳩ヶ谷市が設置したもの。川口市は、こうした施設は地域の『町会立』です。川口市にない施設は、切り捨てられる危険性を含んでいます。